

形成外科を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	手指・四肢開放損傷患者の救急搬送に関する動画アプリケーションの活用
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) 形成外科講座 (職名) 教授 (氏名) 古川洋志
研究の対象となる方	研究実施承認日から 2025 年 3 月までに、手指切断・四肢開放損傷で当院へ救急搬送される患者さんのうち、名古屋市消防本部/西春日井消防本部/新城消防本部の管轄内から搬送される患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2026 年 3 月 31 日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的]</p> <p>私たちは手指切断・四肢開放損傷患者の救急搬送に関し、現場で撮影した写真を Email で情報共有するテレトリアージシステムを消防/救急隊と連携して運用してきました。その結果、静止画像を用いた事により、搬送先問い合わせ数の減少と搬送時間の短縮が得られました。今後は、静止画から動画に変更することでリアルタイムでの対応が可能となり、さらなる短縮や情報の質の向上が得られ、救急医療の質の向上が得られると考えています。動画を用いたアプリケーションを使用することにより、救急搬送に関わる業務のさらなる効率化が得られることを明らかとすることを目的としています。</p> <p>[利用方法]</p> <p>救急隊による患者搬送データ (通報時間・現場到着時間・搬送先決定時間・搬送先到着時間) 患者データ(電子カルテからの一括抽出): 傷病名・手術関連情報(開始時間・麻酔方法・手術方法・手術時間) 搬送時に撮影された動画データを利用いたします。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>試料・情報は個人が特定できないようにし、記録媒体、郵送、電子的配信等により共同研究機関へ提供します。</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び	試料:「非該当」

項目	情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、手術所見、救急隊による患者搬送データ（通報時間・現場到着時間・搬送先決定時間・搬送先到着時間）、傷病名・手術関連情報（開始時間・麻酔方法・手術方法・手術時間）、搬送時に撮影された動画データ等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	名古屋大学大学院医学系研究科 手の外科学・助教・徳武克浩
試料・情報を利用する学外の者	名古屋大学大学院医学系研究科四肢外傷学寄附講座・特任講師・米田英正 名古屋大学予防早期医療創成センター・准教授・大山慎太郎 名古屋大学医学部附属病院・手の外科・病院助教・村山敦彦 安城更生病院・整形外科・主任部長・建部将広 安城更生病院・整形外科・手の外科部長・倉橋俊和 名古屋医療センター・救急科・ER室長・近藤 貴士郎 日本赤十字社名古屋第一病院・救急部・集中治療部長 救急部長・都築 通孝 小牧市民病院・救急科・救命救急センター長・井上卓也 豊川市民病院・救急科・主任部長・高松 真市 豊橋市民病院・救急科・副部長・斗野敦士
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年1月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学医学部 形成外科学講座 担当者：(職名) 教授 (氏名) 古川洋志 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22236)